

付属資料

付属資料

町民アンケート

I 総論

1 調査概要

1.調査目的

計画策定を進めるにあたり、町民の町に対するイメージや満足度、今後重要と思われる施策を把握するため、町民を対象としたアンケート調査を実施しました。

2.調査方法

- ・調査対象：板柳町に居住する20歳以上の町民1,000人（無作為抽出）
- ・調査期間：令和2年10月30日（金）～令和2年11月16日（月）
- ・配布回収：郵送による配布回収
- ・回収数・率：466票（回収率46.6%）

3.質問項目

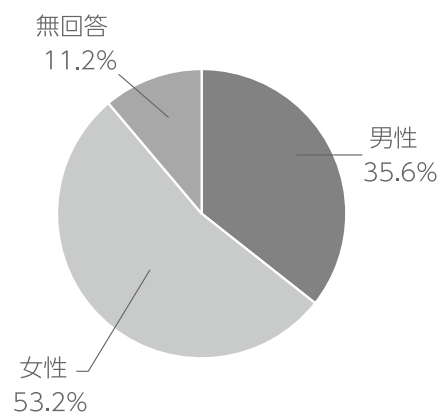
質問項目	内 容
質問1 回答者について	・回答者の属性 （性別、年齢、職業、通勤・通学先、家族の人数・構成） ・回答者の居住地区 ・住むことになった経緯 ・買い物先・通院先
質問2 板柳町のイメージ、満足度	・板柳町の印象（イメージ）（4段階評価） ・板柳町での生活やまちづくりに対する満足度（5段階評価）
質問3 今後重要と考える施策	・今後のまちづくりで重要と考える施策（複数選択）
質問4 まちづくりへの意見・提言	・自由記述

2 調査結果

1. 回答者の属性

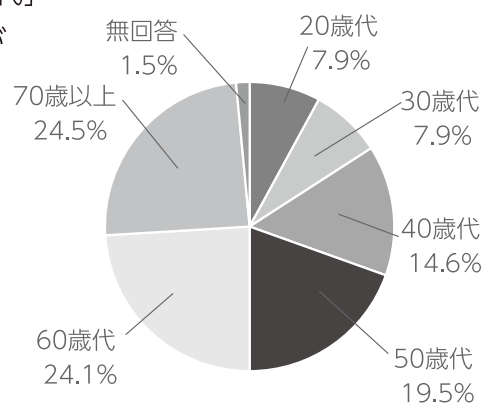
① 性別

回答者のうち、「男性」は35.6%、「女性」は53.2%と、女性の占める割合が高くなっている。



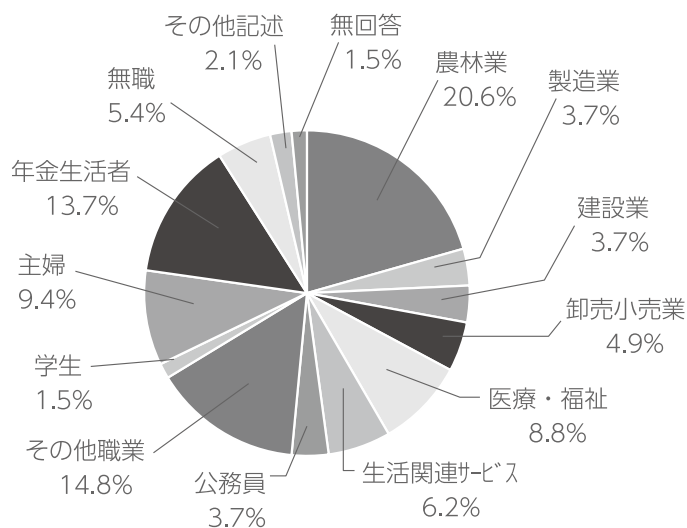
② 年齢

回答者の年齢は、「70歳以上」が24.5%と最も高く、次いで「60歳代」が24.1%、「50歳代」が19.5%となっており、60歳以上の高齢者が48.6%と約半数を占めている。



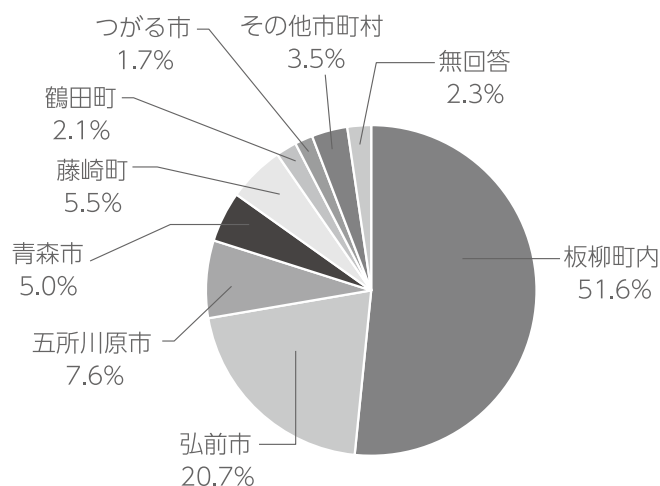
③ 職業等

回答者の職業は、「農林業」が20.6%と最も高く、次いで「その他職業」が14.8%、「年金生活者」が13.7%となっている。



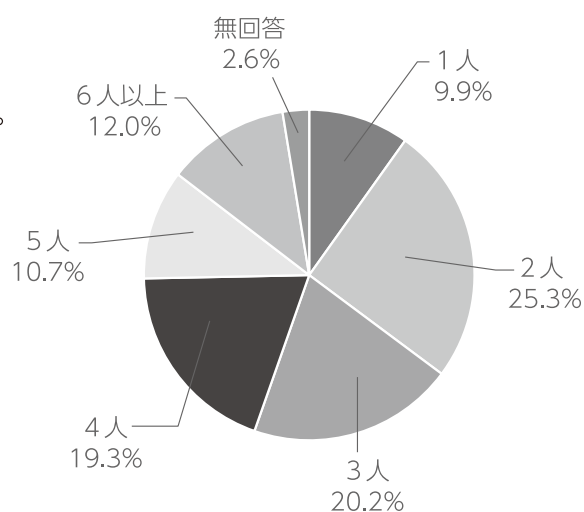
④通勤通学先

回答者の通勤・通学先では、「板柳町内」が51.6%と最も高く、次いで、「弘前市」が20.7%、「五所川原市」が7.6%となっている。



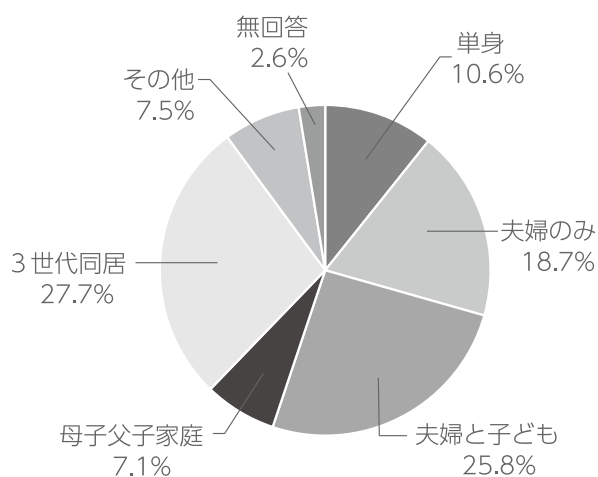
⑤家族人数

回答者の家族の人数は、「2人」が25.3%と最も高く、次いで「3人」が20.2%、「4人」が19.3%となっている。



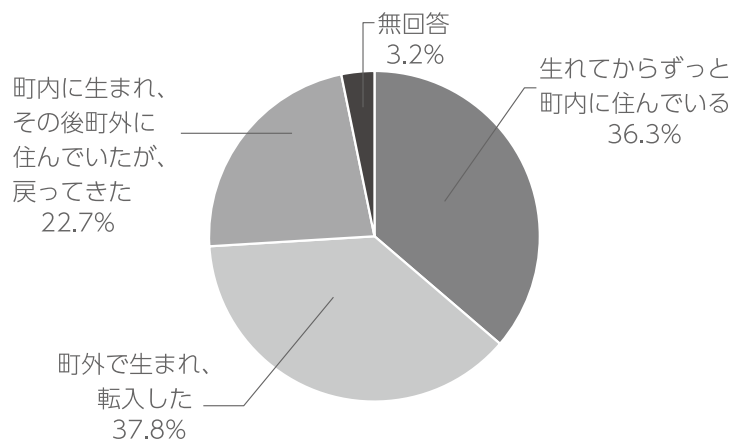
⑥家族構成

回答者の家族構成は、「3世代同居」が27.7%と最も高く、次いで「夫婦と子ども」が25.8%、「夫婦のみ」が18.7%となっている。



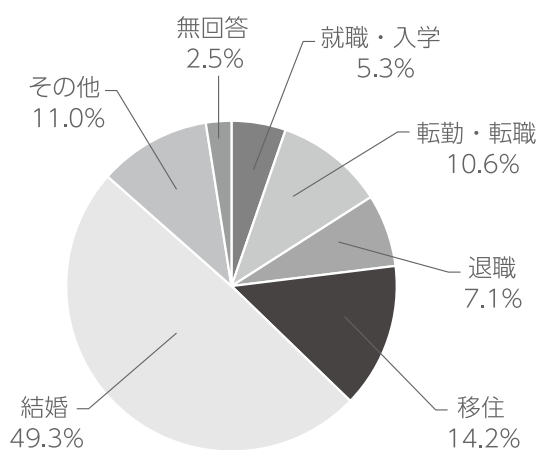
⑦板柳町に住むことになった経緯

回答者が板柳町に住むことになった経緯は、「町外で生まれ、転入した」が37.8%で最も高く、次いで「生まれてからずっと町内に住んでいる」が36.3%、「町内に生まれ、その後町外に住んでいたが、戻ってきた」が22.7%となっている。



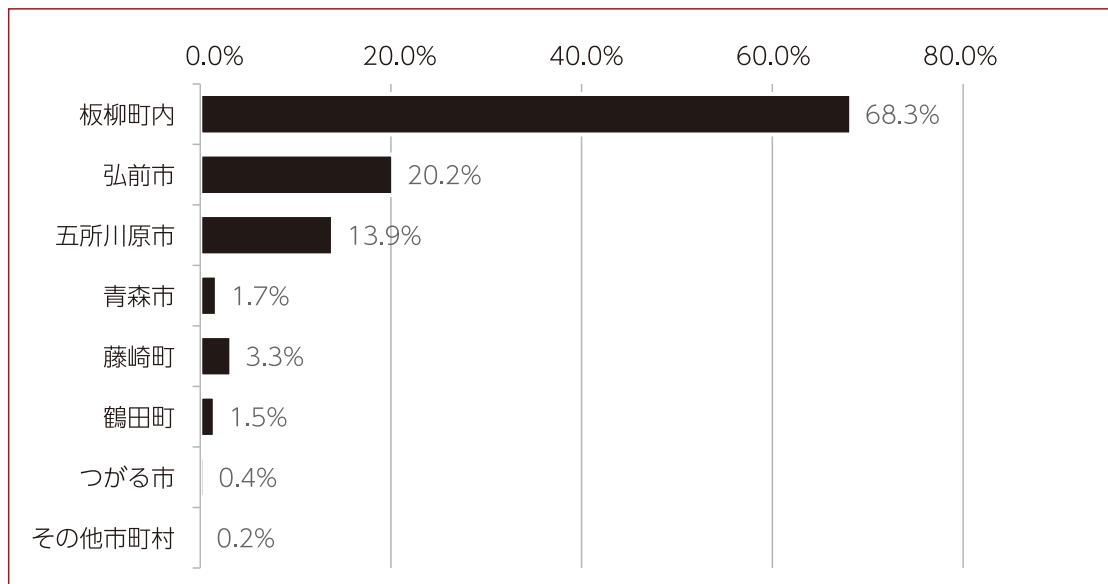
⑧転入の理由

⑦で「町外で生まれ、転入した」または「町内に生まれ、その後町外に住んでいたが、戻ってきた」を選んだ回答者の板柳町への転入の理由は、「結婚」が最も高く49.3%、次いで「移住」が14.2%、「その他」11.0%となっている。



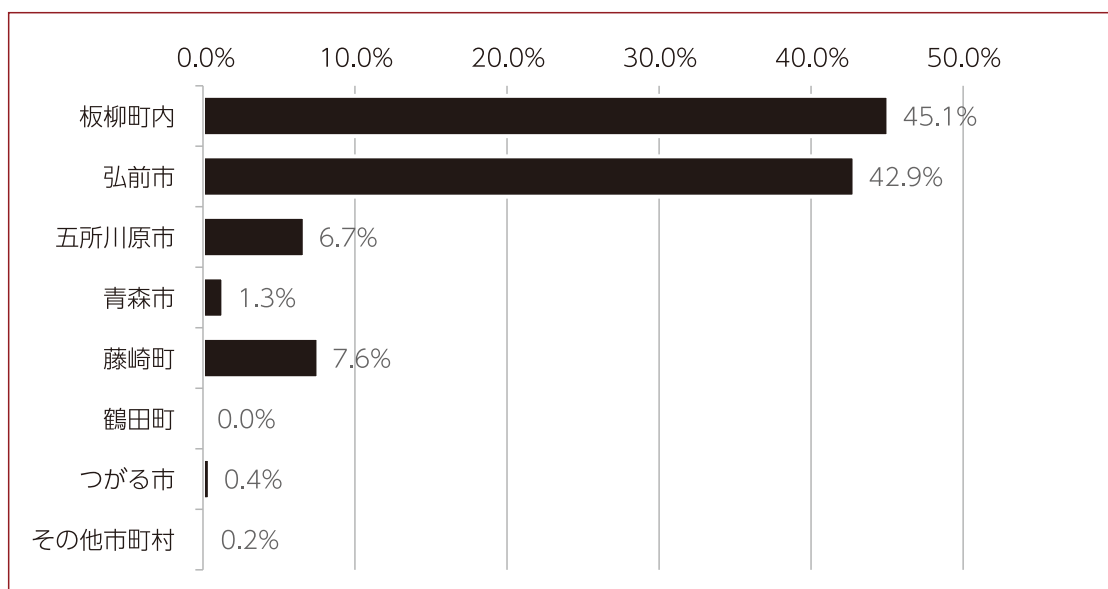
⑨ 日常的な買い物先

回答者の日常的な買い物先について質問した結果、最も高いのは「板柳町内」で68.3%となっており、次いで「弘前市」が20.2%、「五所川原市」が13.9%となっている。



⑩ 通院のためによく行く市町村

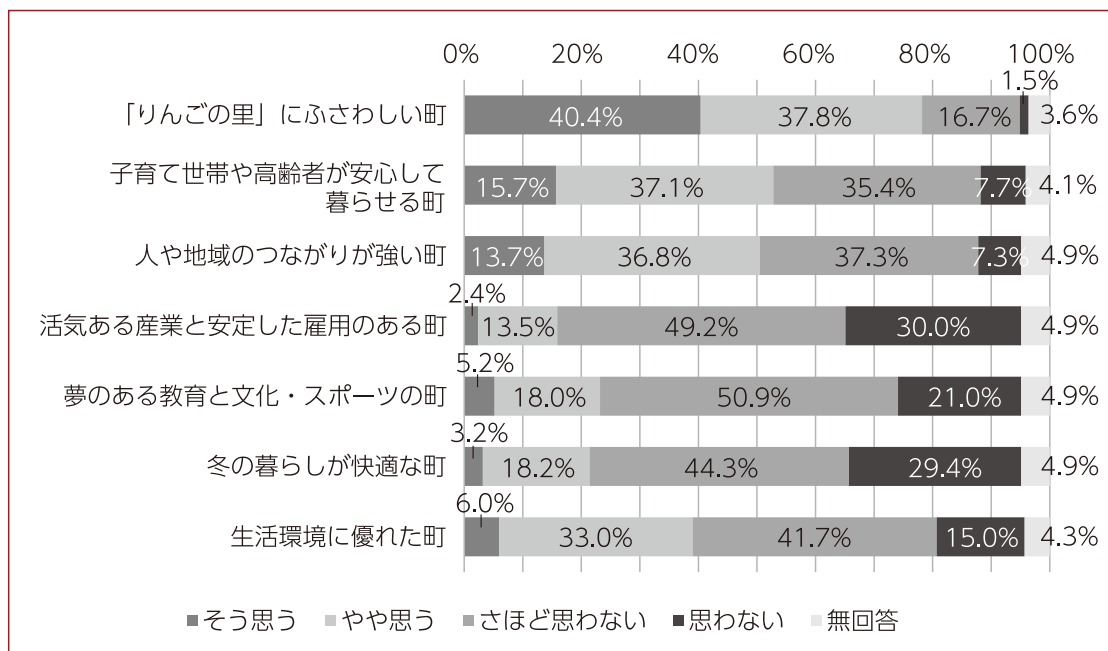
回答者が通院のためによく行く市町村について複数回答で質問した結果、「板柳町内」が最も高く45.1%、次いで「弘前市」が42.9%と、概ね同じぐらいの割合となっている。



2.板柳町の印象(イメージ)や生活する上での満足度

①板柳町の印象イメージ

回答者が板柳町に対して持っている印象(イメージ)については、『『りんごの里』にふさわしい町』が「そう思う」、「やや思う」を合わせて78.2%と最も高く、次いで「子育て世帯や高齢者が安心して暮らせる町」が52.8%、「人や地域のつながりが強い町」が50.5%となっている。

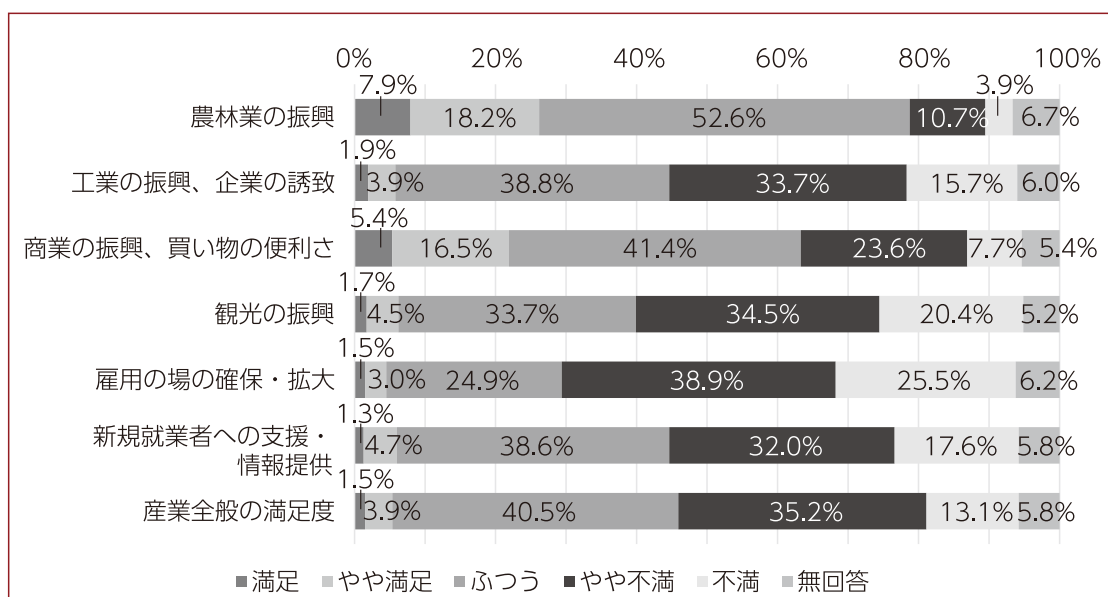


②現在の生活やまちづくりに関する満足度

この質問では、各項目について回答者に5段階評価をしてもらっており、「満足」または「やや満足」を合わせて「満足傾向」、「不満」または「やや不満」を合わせて「不満傾向」としている。

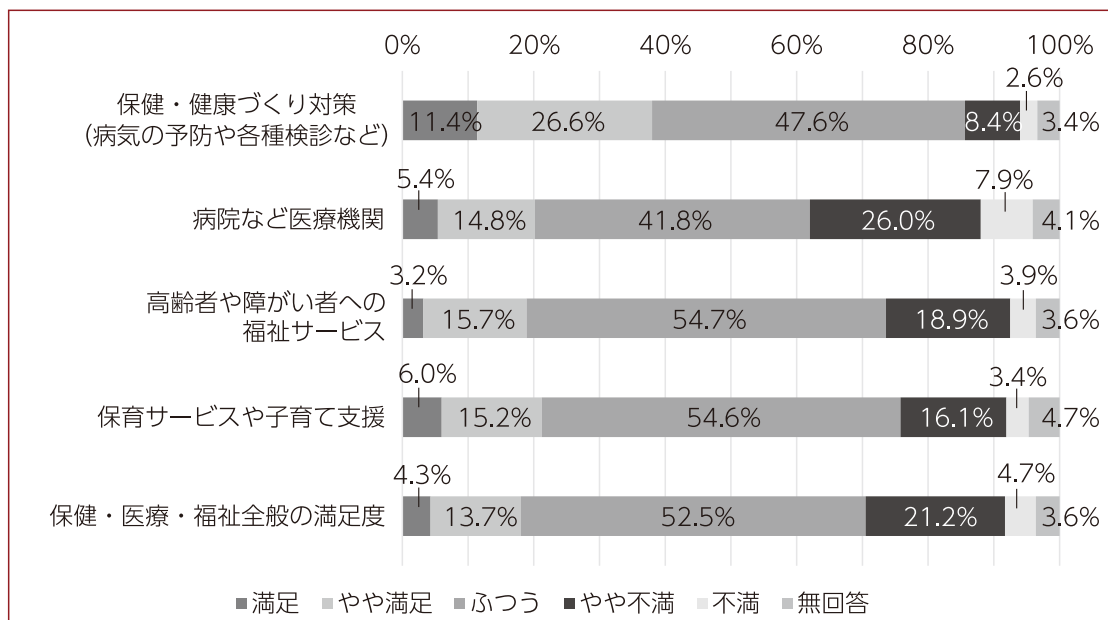
a.産業に関する満足度

満足傾向が高い項目は「農林業の振興」のみで26.1%となっている。一方で、最も不満傾向が高い項目は「雇用の場の確保・拡大」で64.4%、次いで、「観光の振興」が54.9%、「新規就業者への支援・情報提供」が49.6%となっている。



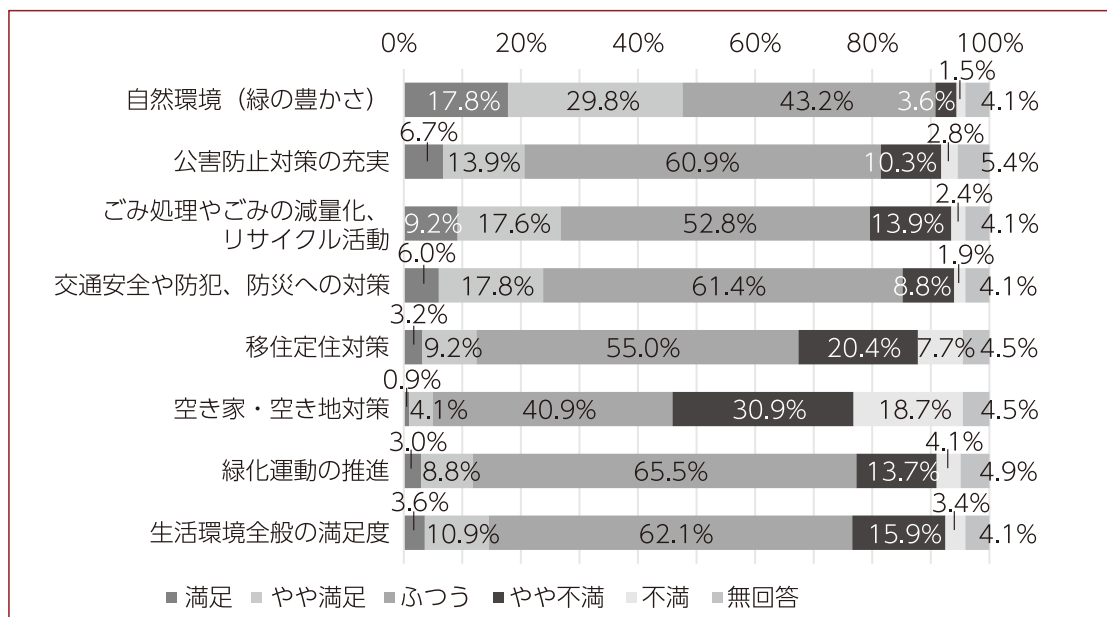
b.保健・医療・福祉に関する満足度

最も満足傾向が高い項目は「保健・健康づくり対策」で38.0%、次いで「保育サービスや子育て支援」が21.2%となっている。一方で、最も不満傾向が高い項目は「病院など医療機関」で33.9%、次いで、「高齢者や障がい者への福祉サービス」が22.8%となっている。



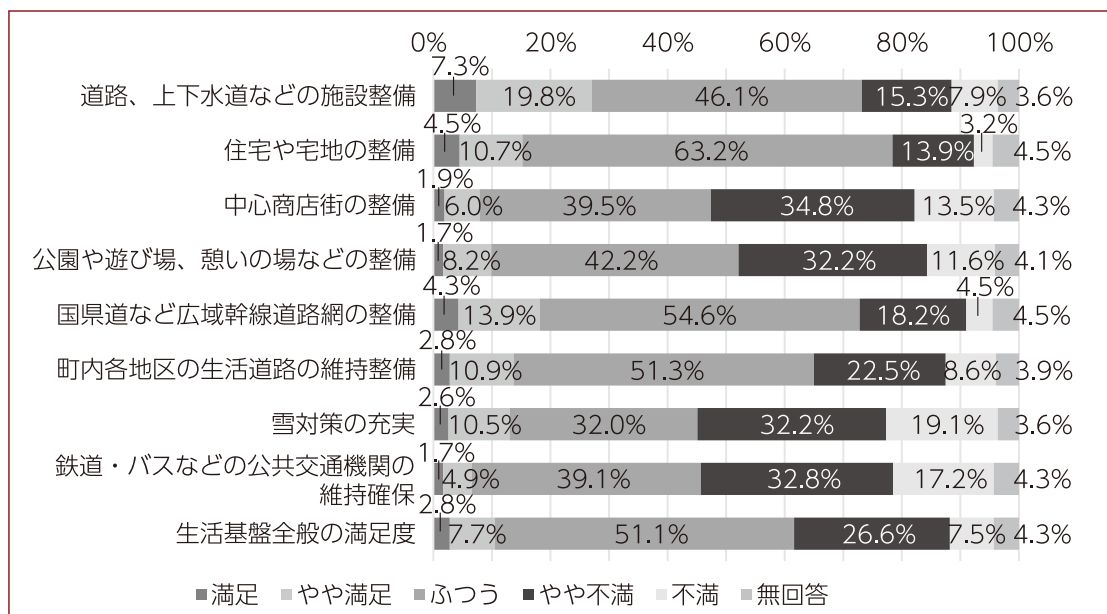
c.生活環境に関する満足度

最も満足傾向が高い項目は「自然環境（緑の豊かさ）」で47.6%、次いで「ごみ処理やごみの減量化、リサイクル活動」が26.8%、「交通安全や防犯、防災への対策」が23.8%、「公害防止対策の充実」が20.6%となっている。一方で、最も不満傾向が高い項目は「空き家・空き地対策」で49.6%、次いで、「移住定住対策」が28.1%、「緑化運動の推進」が17.8%となっている。



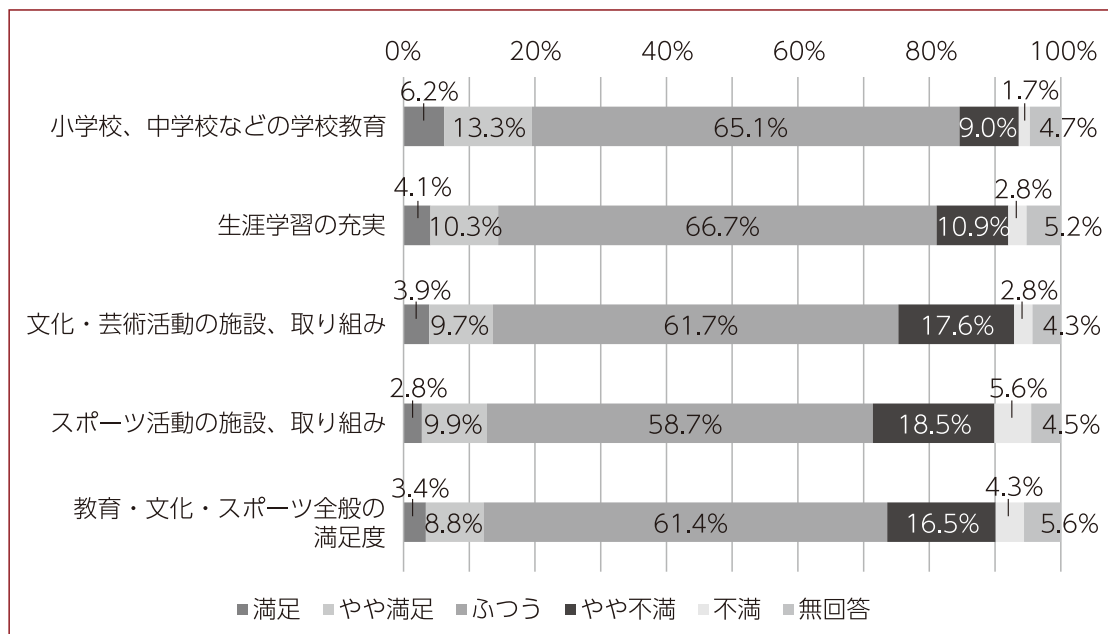
d.生活基盤に関する満足度

最も満足傾向が高い項目は「道路、上下水道などの施設整備」で27.1%となっている。一方で、最も不満傾向が高い項目は「雪対策の充実」で51.3%、次いで、「鉄道・バスなどの公共交通機関の維持確保」が50.0%、「中心商店街の整備」が48.3%、「公園や遊び場、憩いの場などの整備」が43.8%となっている。



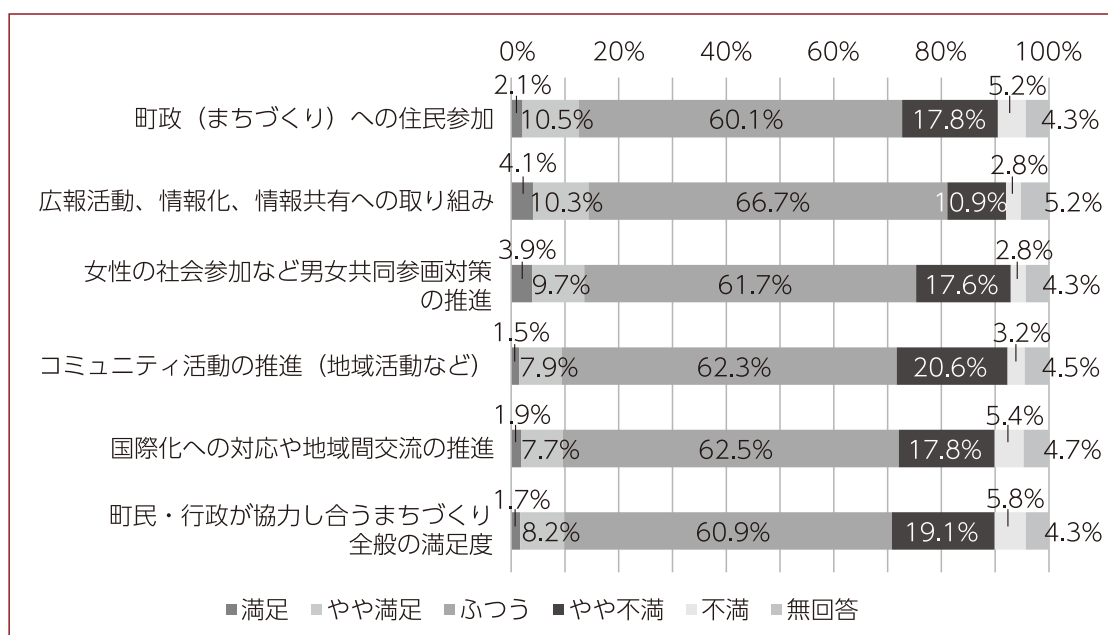
e.教育・文化・スポーツに関する満足度

最も満足傾向が高い項目は「小学校、中学校などの学校教育」で19.5%、次いで「生涯学習の充実」が14.4%となっている。一方で、最も不満傾向が高い項目は「スポーツ活動の施設、取り組み」で24.1%、次いで、「文化・芸術活動の施設、取り組み」が20.4%となっている。



f.町民・行政が協力し合うまちづくりに関する満足度

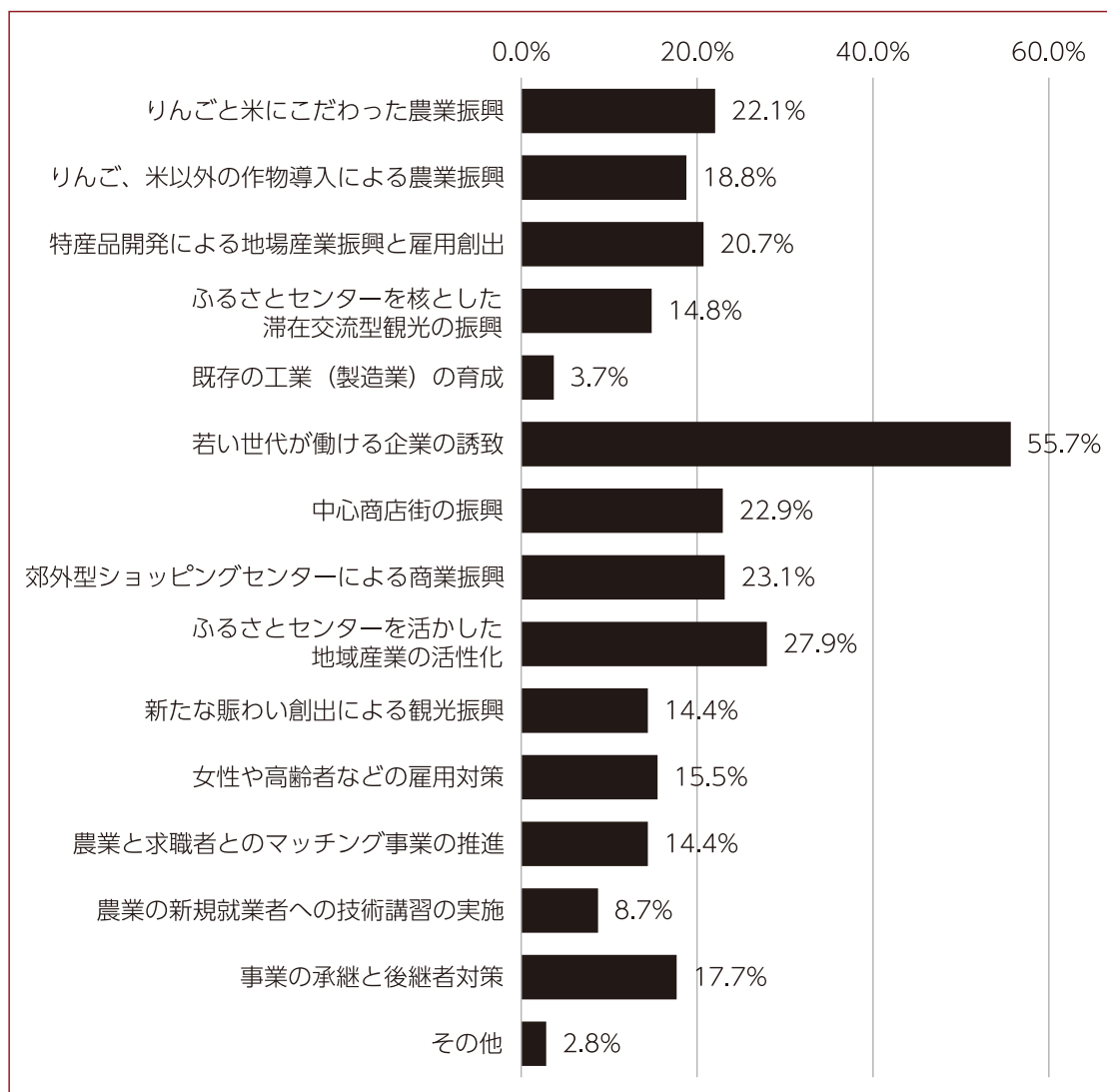
最も満足傾向が高い項目は「広報活動、情報化、情報共有への取り組み」で14.4%となっている。一方で、最も不満傾向が高い項目は「コミュニティ活動の推進（地域活動など）」で23.8%、次いで、「国際化への対応や地域間交流の推進」が23.2%、「町政（まちづくり）への住民参加」が23.0%、「女性の社会参加など男女共同参画対策の推進」が20.4%となっている。



3.今後のまちづくりで重要と考える施策

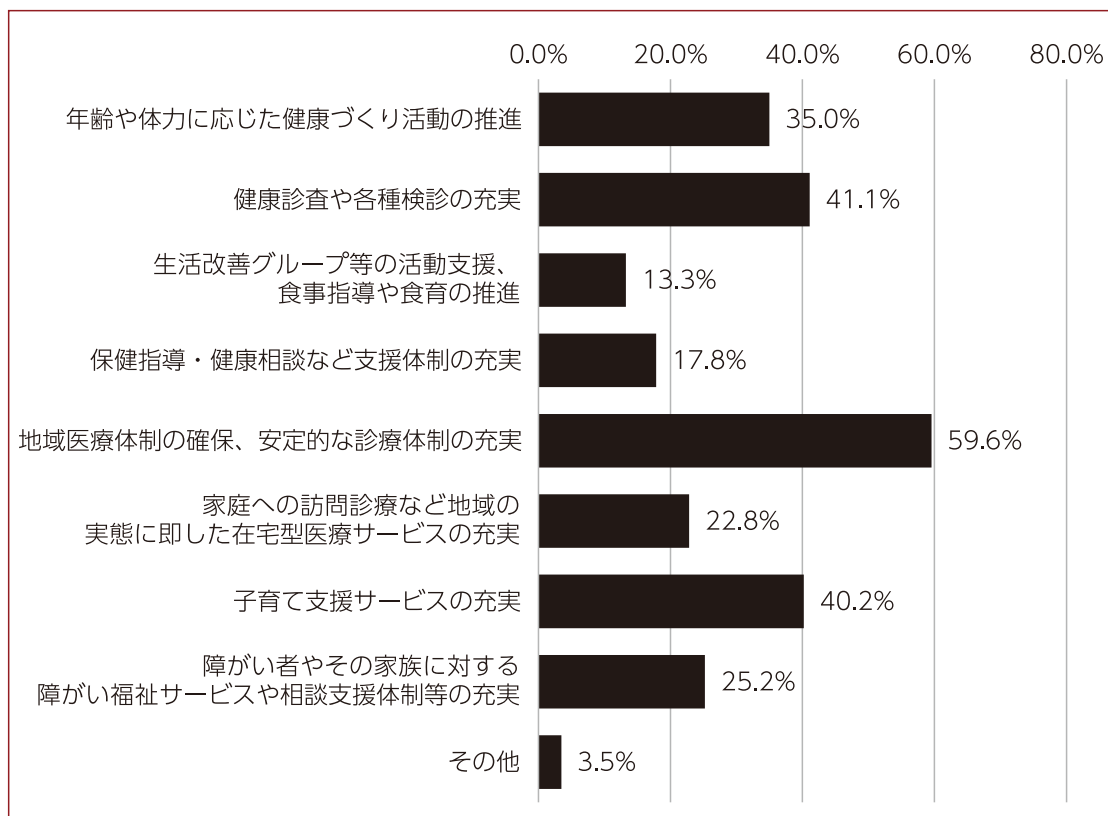
①町の産業・雇用について重要な施策

「若い世代が働ける企業の誘致」が55.7%と最も高く、次いで「ふるさとセンターを活かした地域産業の活性化」が27.9%、「郊外型ショッピングセンターによる商業振興」が23.1%、「中心商店街の振興」が22.9%、「りんごと米にこだわった農業振興」が22.1%、「特産品開発による地場産業振興と雇用創出」が20.7%となっている。



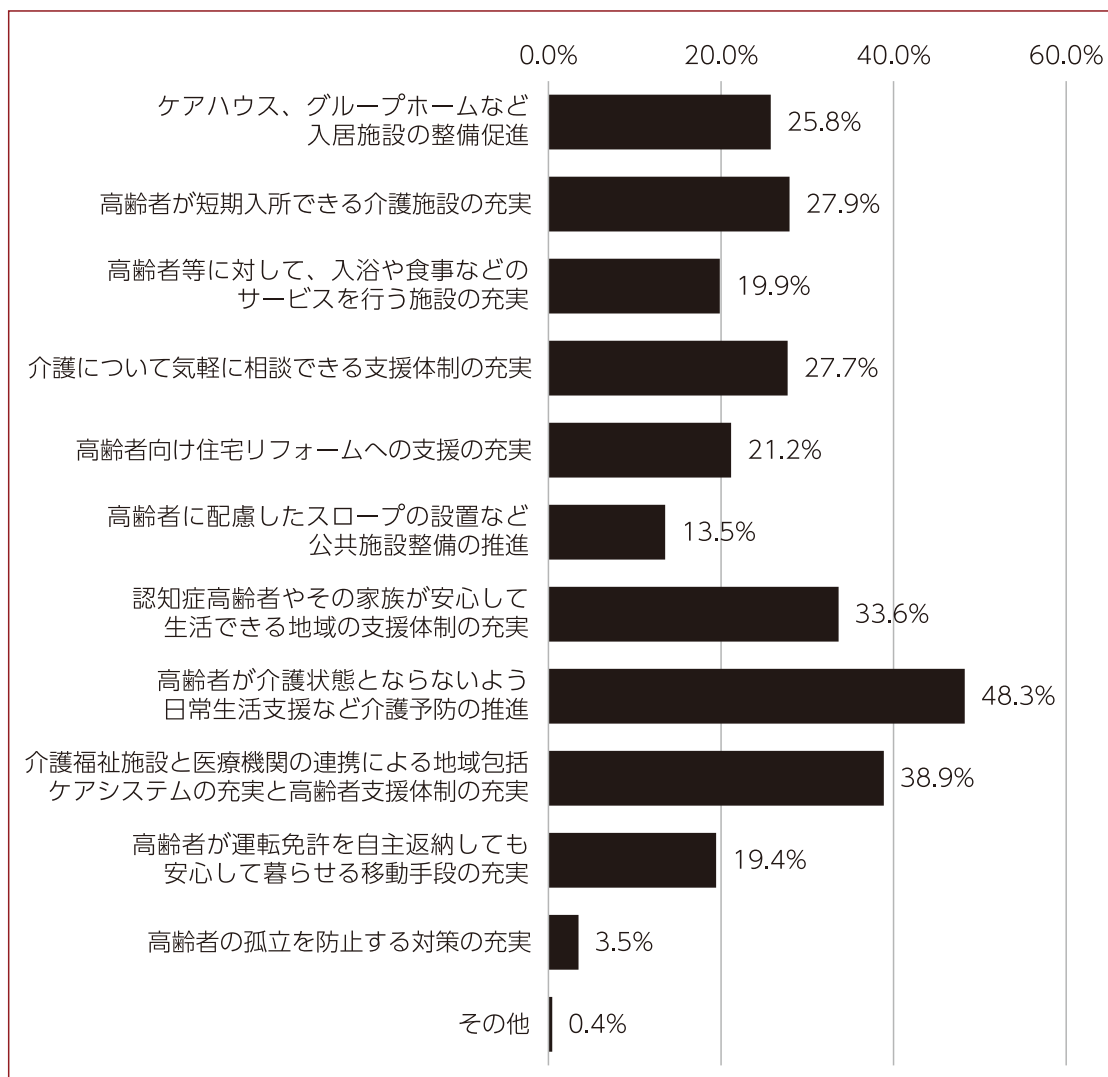
②町民が健康で安心した生活を送るために重要な施策

「地域医療体制の確保、安定的な診療体制の充実」が59.6%と最も高く、次いで「健康診査や各種検診の充実」が41.1%、「子育て支援サービスの充実」が40.2%、「年齢や体力に応じた健康づくり活動の推進」が35.0%、「障がい者やその家族に対する障がい福祉サービスや相談支援体制等の充実」が25.2%、「家庭への訪問診療など地域の実態に即した在宅型医療サービスの充実」が22.8%となっている。



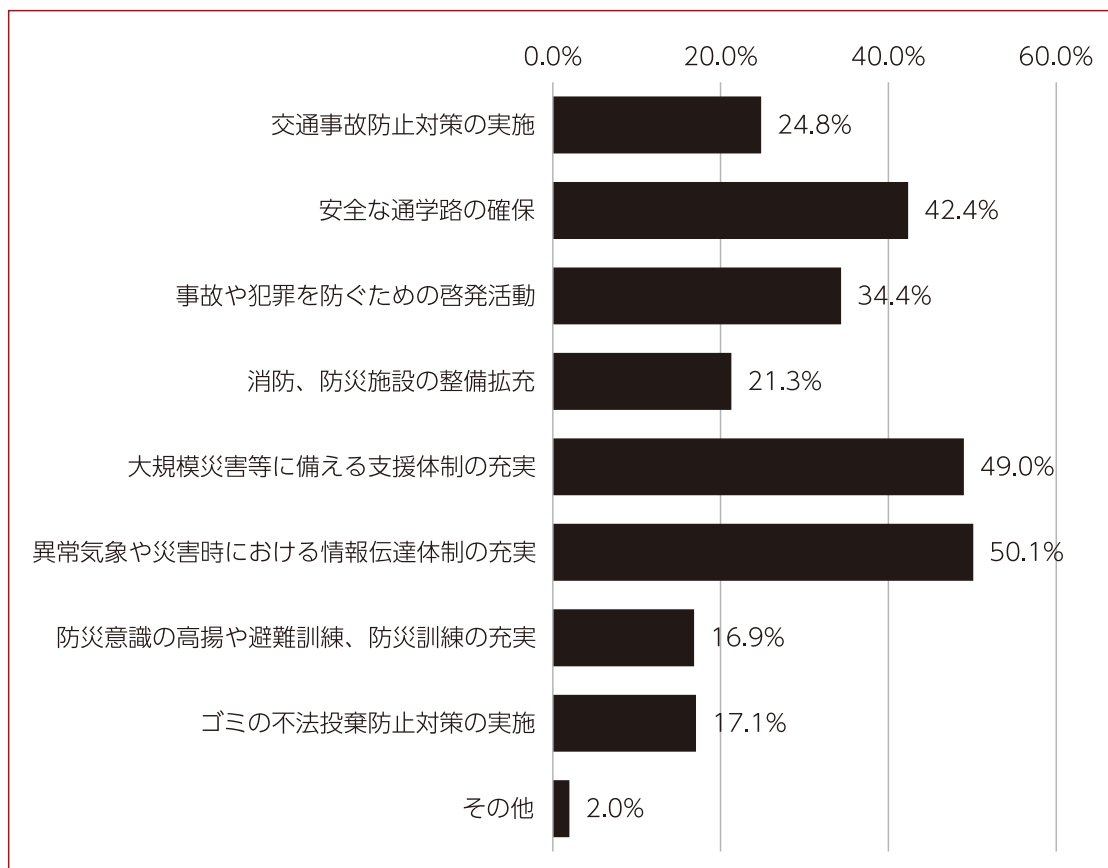
③高齢者が快適で不自由のない生活を送るために重要な施策

「高齢者が介護状態とならないよう日常生活支援など介護予防の推進」が48.3%と最も高く、次いで「介護福祉施設と医療機関の連携による地域包括ケアシステムの充実と高齢者支援体制の充実」が38.9%、「認知症高齢者やその家族が安心して生活できる地域の支援体制の充実」が33.6%、「高齢者が短期入所できる介護施設の充実」が27.9%、「介護について気軽に相談できる支援体制の充実」が27.7%、「ケアハウス、グループホームなど入居施設の整備促進」が25.8%となっている。



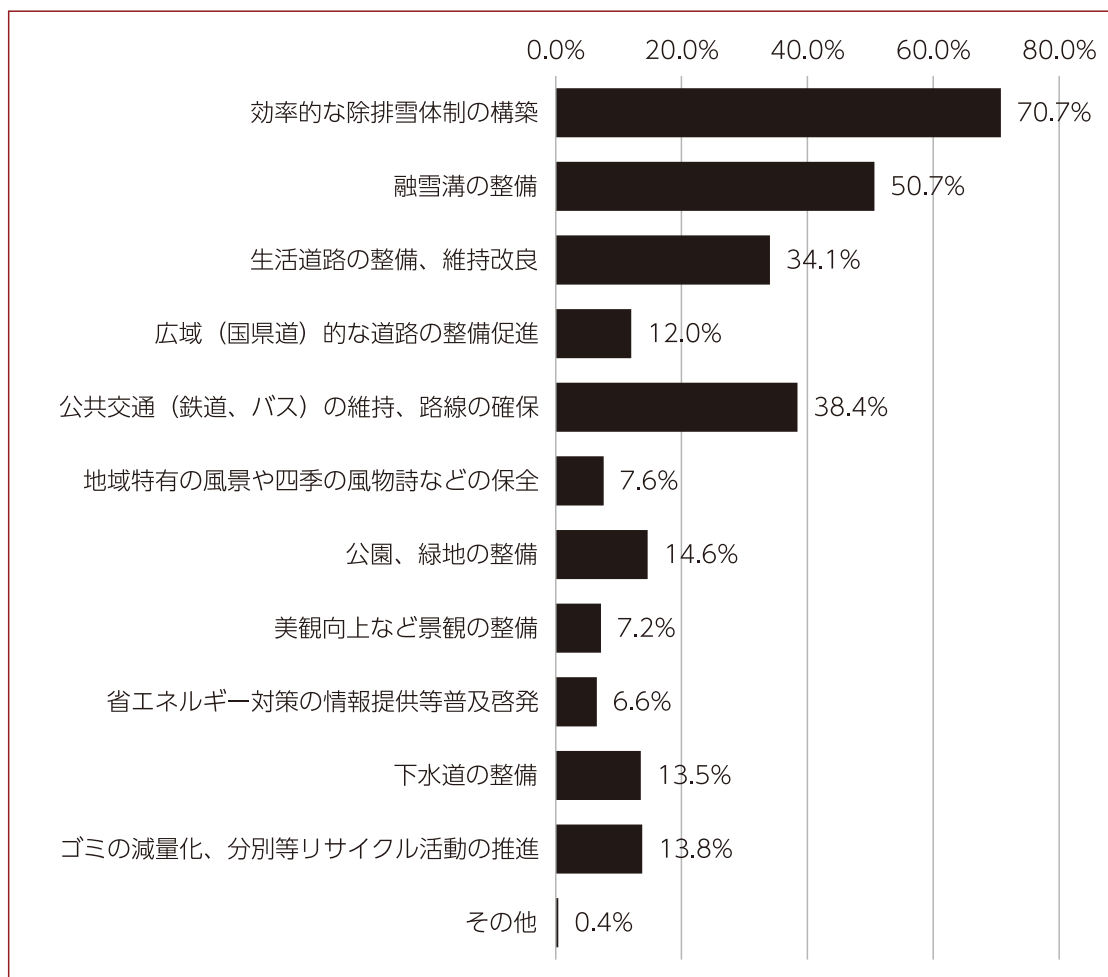
④町民が安心、安全な生活を送るために重要な施策

「異常気象や災害時における情報伝達体制の充実」が50.1%と最も高く、次いで「大規模災害等に備える支援体制の充実」が49.0%、「安全な通学路の確保」が42.4%、「事故や犯罪を防ぐための啓発活動」が34.4%、「交通事故防止対策の実施」が24.8%、「消防、防災施設の整備拡充」が21.3%となっている。



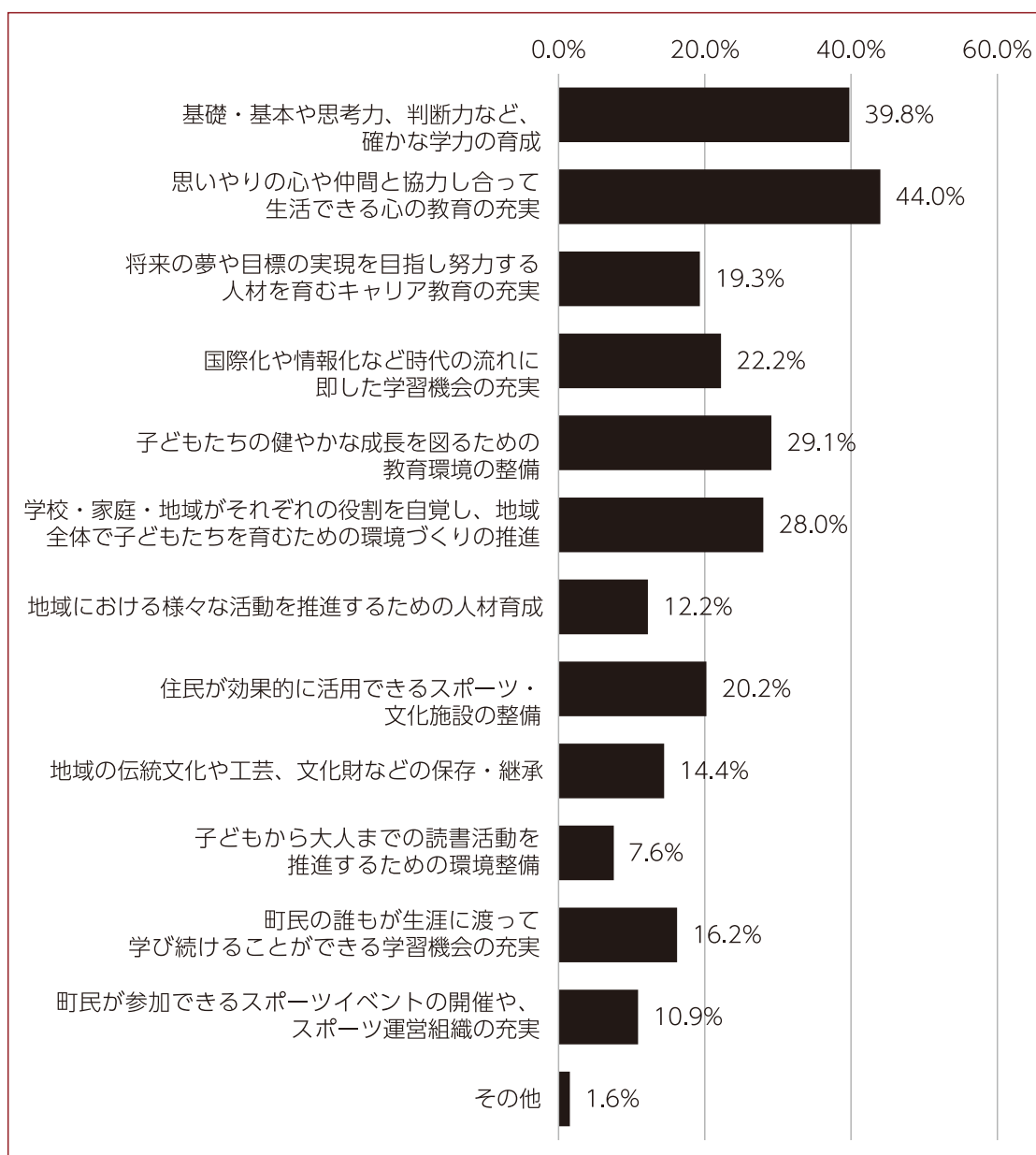
⑤ 町民が快適な生活を送るために重要な施策

「効率的な除排雪体制の構築」が70.7%と最も高く、次いで「融雪溝の整備」が50.7%、「公共交通（鉄道、バス）の維持、路線の確保」が38.4%、「生活道路の整備、維持改良」が34.1%となっている。



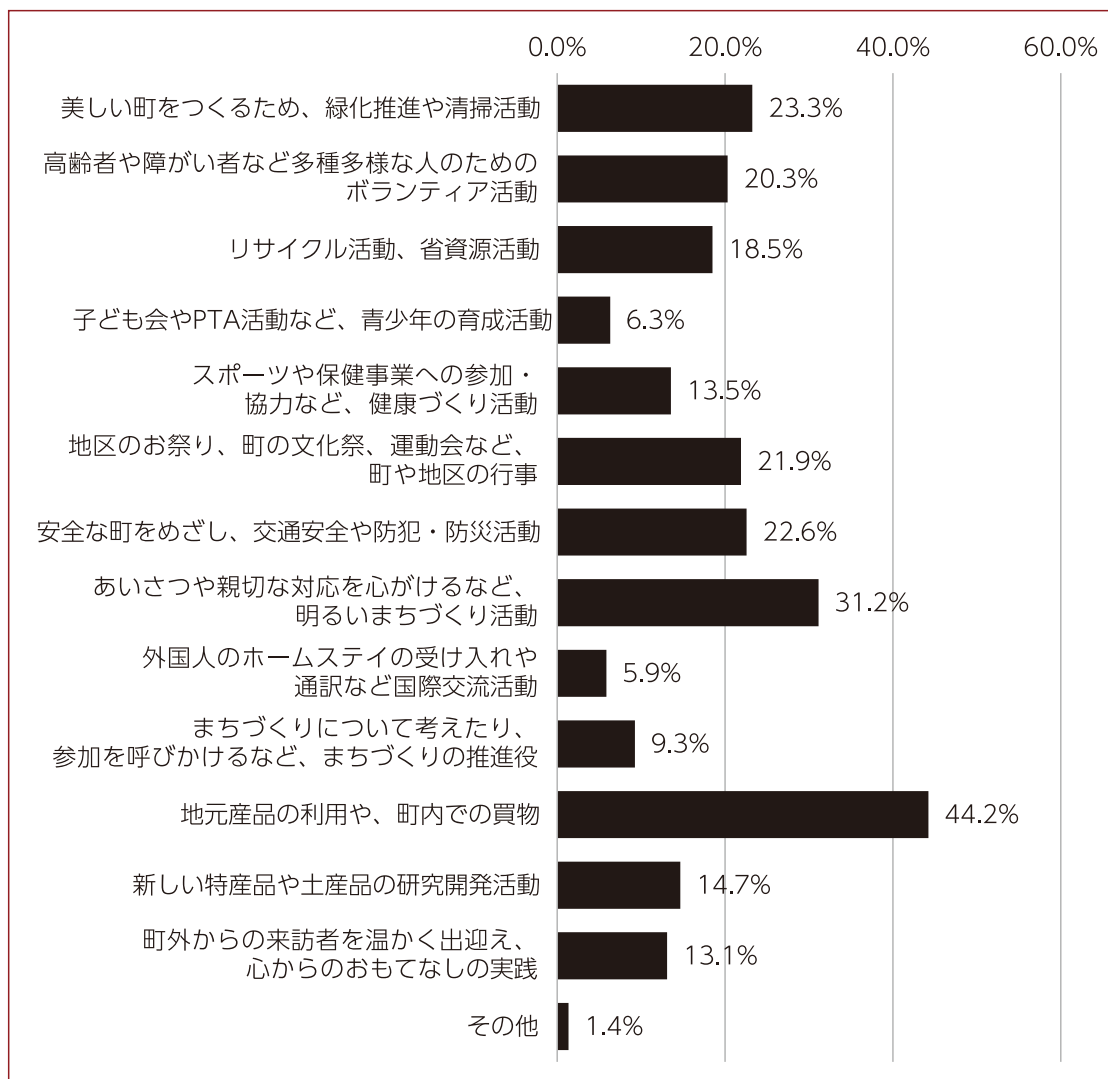
⑥子どもたちの教育、町民の日常的な学習活動や文化・スポーツ活動を促進するために重要な施策

「思いやりの心や仲間と協力し合って生活できる心の教育の充実」が44.0%と最も高く、次いで「基礎・基本や思考力、判断力など、確かな学力の育成」が39.8%、「子どもたちの健やかな成長を図るための教育環境の整備」が29.1%、「学校・家庭・地域がそれぞれの役割を自覚し、地域全体で子どもたちを育むための環境づくりの推進」が28.0%、「国際化や情報化など時代の流れに即した学習機会の充実」が22.2%、「住民が効果的に活用できるスポーツ・文化施設の整備」が20.2%となっている。



⑦どのようなまちづくり活動に参加したいか

「地元産品の利用や、町内での買物」が44.2%と最も高く、次いで「あいさつや親切な対応を心がけるなど、明るいまちづくり活動」が31.2%、「美しい町をつくるため、緑化推進や清掃活動」が23.3%、「安全な町をめざし、交通安全や防犯・防災活動」が22.6%、「地区のお祭り、町の文化祭、運動会など、町や地区の行事」が21.9%、「高齢者や障がい者など多種多様な人のためのボランティア活動」が20.3%となっている。



1 目的

町民ワークショップ(以下、WS)は、あるテーマについて問題意識を有している方々に集まっていただき、そのテーマに沿って、現状や課題の整理、今後進むべき方向の提案を取りまとめ、計画策定の一助とすることを目的として実施しました。

2 開催概要

1.WSの共通テーマ

検討にあたっては、共通テーマを「10年後の板柳町を考える」と設定し、将来の板柳町をより良くするために、分野・テーマ別に現状や課題をとらえ、必要な方策について検討しました。

2.検討分野・テーマ

WSで検討する分野・テーマは一般的な長期振興計画の施策分類により設定し、分野ごとに開催日時、グループを分けて実施しました。

表 検討分野・テーマ

検討分野	内 容	テーマ
①産業・雇用	農業(他産業との連携、高付加価値化、後継者対策、省力化、6次産業化)、商工業、観光業、雇用の場づくり	活気ある町の産業、雇用づくり
②福祉・健康・医療	高齢者福祉、障がい者福祉、健康、医療、連携	健康に安心して生活を送るために
③結婚・出産・子育て	相談、場づくり、保育、子育て支援	少子化対策と安心して子どもを産み育てる環境づくり
④教育・文化・スポーツ	学校教育、生涯学習、地域文化・伝統継承、学校スポーツ、生涯スポーツ	子どもたちの学習、文化・スポーツ活動を促す環境づくり

表 開催概要

	検討分野	開催日時	参加人数
第1回	①産業・雇用	令和3年2月5日	2グループ、計12名
第2回	③結婚・出産・子育て	令和3年3月5日	1グループ、7名
	④教育・文化・スポーツ	令和3年3月5日	1グループ、7名
第3回	②福祉・健康・医療	令和3年3月29日	1グループ、6名

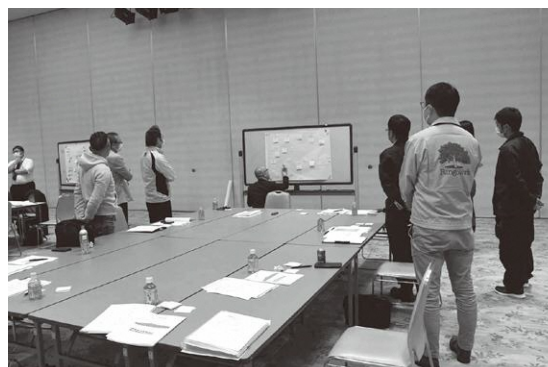
3.WSプログラム

1回の所要時間を概ね2時間程度に設定し、各グループの進行役は役場職員等が務めました。

表 プログラム

項 目	時 間	概 要
1. 趣旨説明	5分	進行役から今回のWSの趣旨、進め方について説明します。
2. テーマの現状の説明	20分	進行役から、資料を基にテーマについての現状を説明します。
3. 自己紹介 4. テーマに現状の補足、 課題の提示	30分 記入10分 発表20分	現況に対して補足事項や、テーマに関する課題をポストイットに書き出し、発表し、模造紙に貼り出します。 最初に意見を発表する際に簡単に自己紹介（お名前、所属等）をします。
5. 現況課題の取りまとめ	5分	貼り出された現状・課題について、進行役が模造紙上で分類、整理します。
(休憩)	5分	(休憩)
6. 課題に対する対応策の 検討	35分 記入15分 発表20分	課題への対応策について、ポストイットに書き出し、発表し、模造紙に貼り出します。
7. 対応策の整理	10分	貼り出された対応策について、進行役が模造紙上で分類、整理します。
8. 内容の発表	5分	整理した今後の対応について発表します。

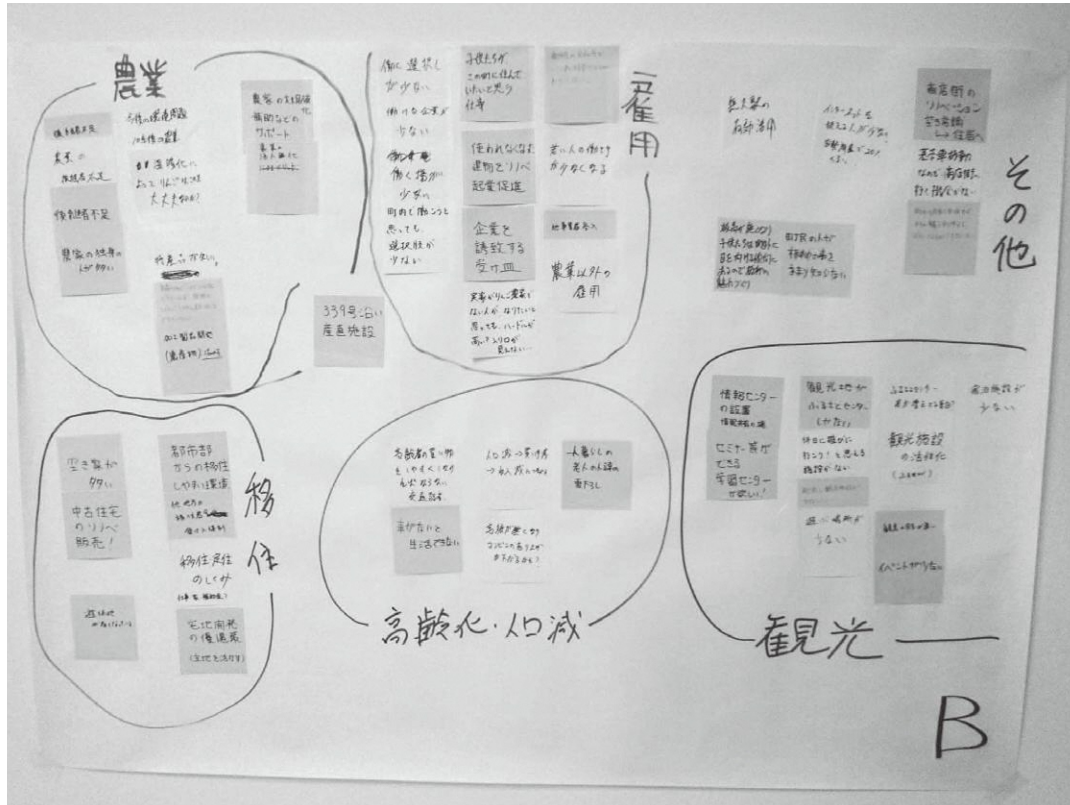
WS当日の様子



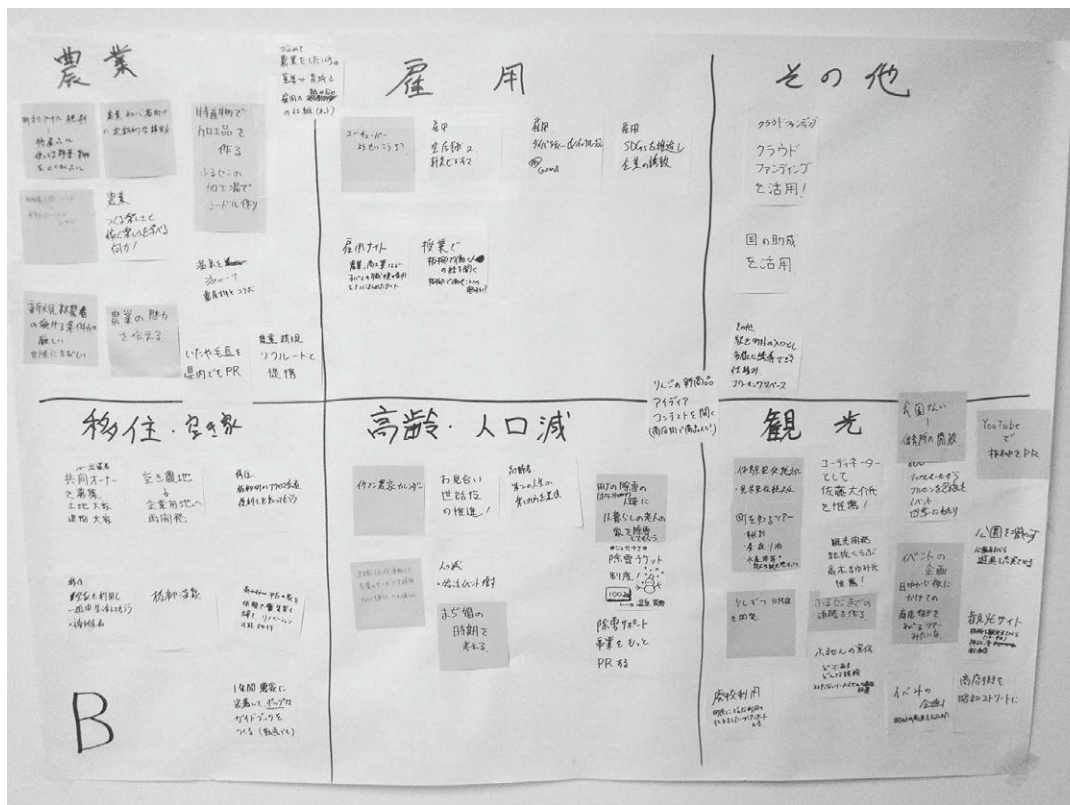
4.WSでの検討結果(抜粋)

①産業・雇用「活気ある町の産業、雇用づくり」

「産業・雇用の現状と課題」

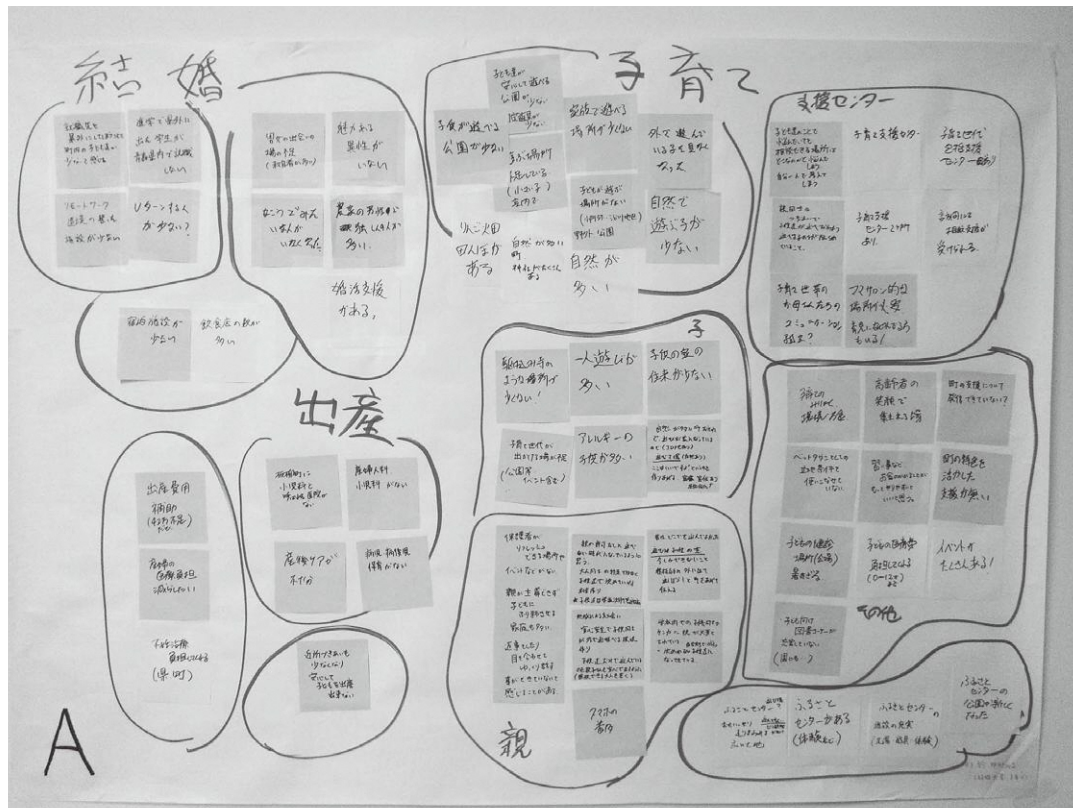


「産業・雇用の課題解決策」

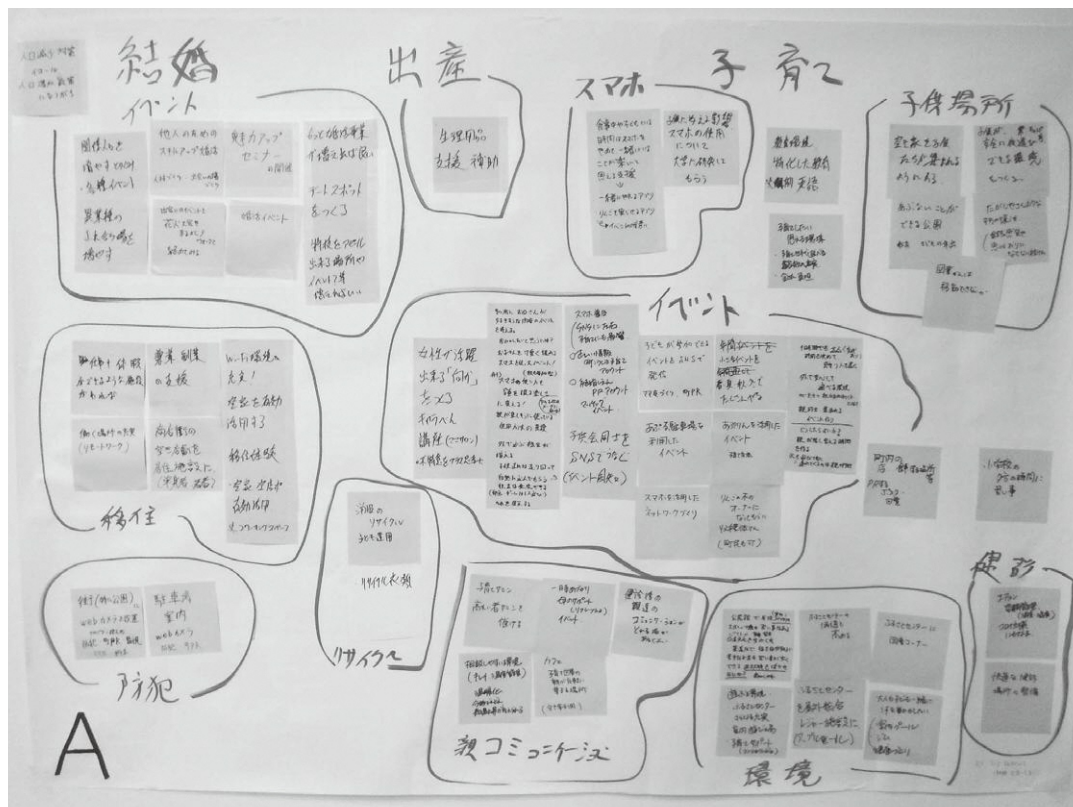


③結婚・出産・子育て「少子化対策と安心して子どもを産み育てる環境づくり」

「結婚・出産・子育ての現状と課題」

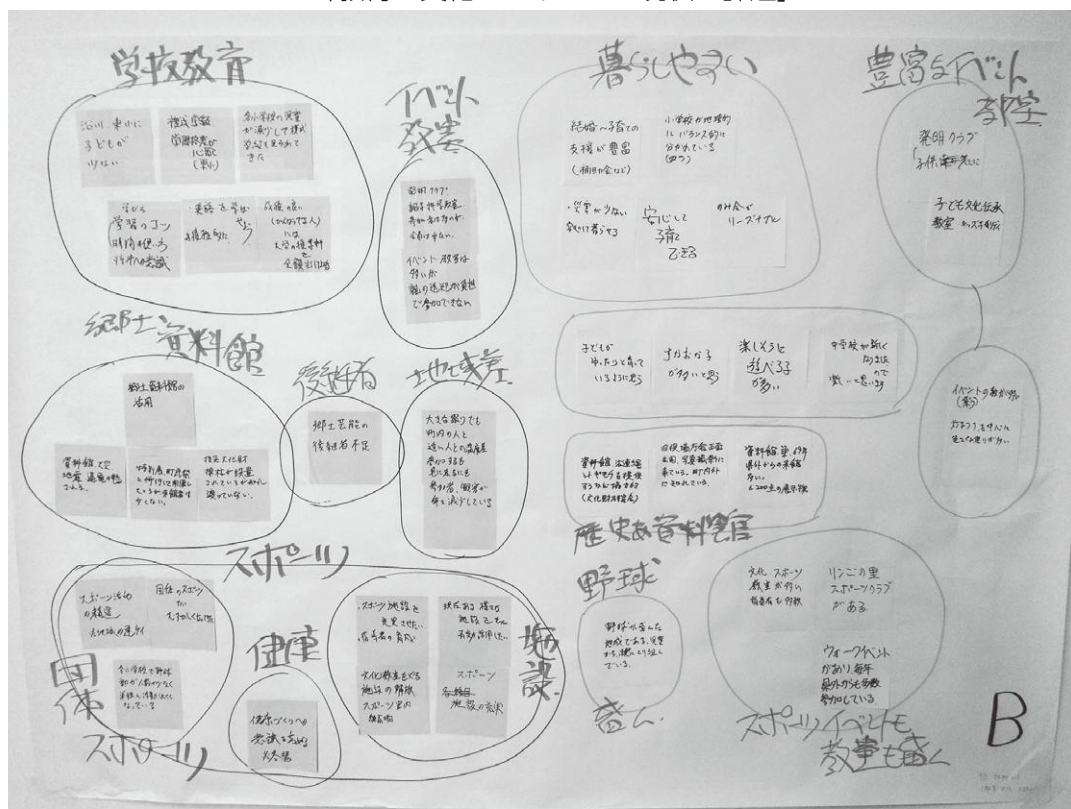


「結婚・出産・子育ての課題解決策」

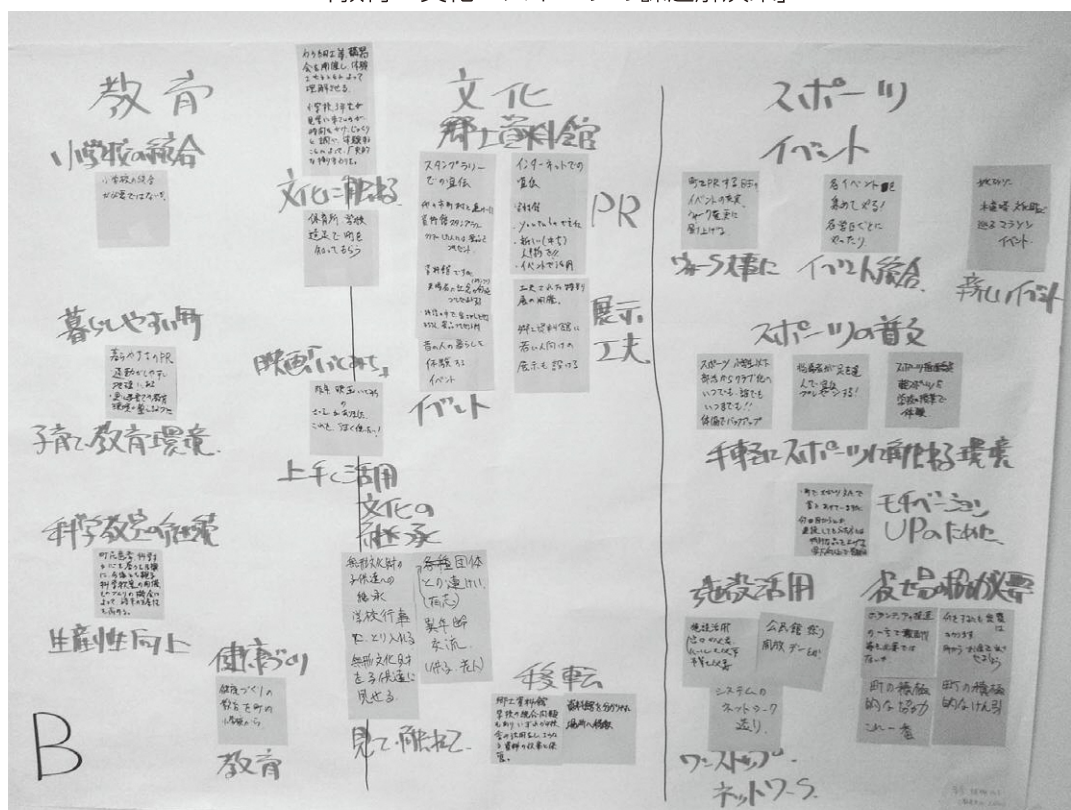


④教育・文化・スポーツ「子どもたちの学習、文化・スポーツ活動を促す環境づくり」

「教育・文化・スポーツの現状と課題」



「教育・文化・スポーツの課題解決策」



付属資料

策定経過

年月日	内 容
R2. 7.10	○審議会委員辞令交付式 ○第1回振興計画審議会 ・町長諮問、策定体制・スケジュール等 ○策定専門委員委嘱状及び事務従事職員辞令交付式 ○第1回専門委員会 ・策定体制・スケジュール等
R2. 8. 7 } R2. 8.12	○各課ヒアリング ・板柳町振興計画（第5次）の施策評価、今後想定される課題や取組方針等について
R2. 8.31	○トップインタビュー ・将来に向けた課題、まちづくりの方向性等について
R2. 10. 6	○まちづくり講演会 ・北原啓司氏（弘前大学教授）、島康子氏（Yプロジェクト株式会社代表取締役）による講演 ・佐藤聖也氏（いたやなぎ地活プランニング代表）、今成純子氏（板柳町地域おこし協力隊）の活動報告 ・パネルディスカッション
R2.10.30 } R2.11.16	○町民アンケート実施
R2.12.22	○第2回振興計画審議会 ・策定スケジュール変更、町民アンケート結果報告 ○第3回専門委員会 ・策定スケジュール変更、町民アンケート結果報告
R3. 2. 5 } R3. 3.29	○町民ワークショップ実施
R3. 4.26	○第4回専門委員会 ・町民ワークショップ結果報告、町の現状と課題、町の将来像について
R3. 5.15	○第5回専門委員会 ・町の将来像、施策の体系について
R3. 7. 1	○第3回振興計画審議会 ・町民ワークショップ結果報告、町の現状と課題、町の将来像、施策の体系について
R3. 8.10	○第6回専門委員会 ・町の将来像、施策の体系、重点プロジェクト案について
R3. 8.25	○第4回審議会 ・町の将来像、施策の体系、重点プロジェクト案について
R3.10. 5	○第7回専門委員会 ・板柳町長期振興計画（第6次）素案について
R3.11. 8	○第5回振興計画審議会 ・板柳町長期振興計画（第6次）素案について
R3.11.10 } R3.11.24	○パブリックコメント実施
R3.12. 2	○町長へ答申

付属資料

委員等名簿

板柳町振興計画審議会委員

氏 名	職 名	備 考
佐藤 洋治	板柳町議会議長	議員
三戸 玲子	板柳町議会総務産業厚生常任委員会委員長	議員 ～R3.3.3
成田 陽光	板柳町議会総務産業厚生常任委員会委員長	議員 R3.3.4～
外崎 善一	板柳町教育委員会教育長職務代理者	教育委員 ～R2.11.29
阿部 隆義	板柳町教育委員会教育長職務代理者	教育委員 R2.12.21～
田澤 傳弘	板柳町農業委員会会長	農業委員 ～R2.7.19
小野 一男	板柳町農業委員会会長	農業委員 R2.7.20～
成田 修逸	板柳町農業委員会総務部会長	農業委員 ～R2.7.19
成田 一二三	板柳町農業委員会総務部会長	農業委員 R2.7.20～
◎ 名越 勉	板柳町商工会会長	公共的団体
成田 清行	津軽みらい農業協同組合代表理事専務	公共的団体
竹浪 司	板柳町社会福祉協議会会長	公共的団体 ～R3.6.18
三戸 武	板柳町社会福祉協議会会長	公共的団体 R3.6.19～
○ 岩崎 信夫	板柳町民生児童委員協議会会長	公共的団体
小田桐 良一	板柳町行政連絡員協議会会長	公共的団体
成田 肇	板柳地区交通安全協会会長	公共的団体
田中 正彦	板柳町国際交流協会会長	公共的団体
大谷 克人	板柳町消防団団長	公共的団体 ～R3.3.22
北畠 憲一	板柳町消防団団長	公共的団体 R3.3.23～
安田 弘美	板柳町体育協会会長	学識経験
田中 和人	板柳町ガイドライン委員会委員長	学識経験
安田 俊喜	りんごの里スポーツクラブ会長	学識経験
芦田 由紀子	人権擁護委員	学識経験
中嶋 はぎの	行政相談委員	学識経験
村上 孝夫	板柳町副町長	町職員
永澤 正己	板柳町教育委員会教育長	町職員

◎会長 ○会長職務代行者

板柳町振興計画策定専門委員

	氏 名	職 名 等	備 考
◎	安田 弘美	板柳町体育協会会長	
	姥澤 大	板柳町農業委員	
	北畠 千春	板柳町社会教育委員	
	齋藤 拓	板柳町社会福祉協議会事務局次長	
	坂本 英嗣	民生児童委員	
	佐藤 聖也	いたやなぎ地活プランニング代表	
	久保田 臣	板柳町商工会青年部部長	
	長内 将吾	りんごの里宿泊・体験推進協議会会長	
	中畑 陽介	板柳町美俊里会会長	
	櫻庭 妃咲美	いたや毛豆研究会会長	
○	須郷 幸子	社会福祉法人鶴住会代表	
	佐々木 弥生	就労継続支援センターあいゆう工房サービス管理責任者	
	佐々木 ひとみ	板柳町ViC・ウーマン	～R3.3.31
	三戸 美幸	板柳町ViC・ウーマン	R3.4.1～
	今成 純子	板柳町地域おこし協力隊	

◎委員長 ○副委員長

板柳町振興計画策定事務従事者

氏 名	職 名 等	備 考
長尾 啓子	板柳中央病院次長	
田中 禎一	学務課課長補佐	
小枝 咲子	企画財政課課長補佐	
会津 亜紀子	税務会計課課長補佐	
三上 晴司	健康推進課課長補佐	
鳴海 紘介	総務課行政係長	
小田桐 慶充	ふるさとセンター業務管理係長	
田中 秀典	産業振興課農政係長	
宮崎 聖也	企画財政課主査	R3.4.1～
竹内 南美	企画財政課主査	

事務局担当課長
八木橋 太、山口 健

付属資料

諮問書・答申書

諮問書

板企財発第100号 令和2年7月10日
板柳町振興計画審議会 会長 名越 勉 殿
板柳町長 成 田 誠
板柳町長期振興計画（第6次）の策定について（諮問）
本年、板柳町は「町制施行100周年・町村合併65周年」の歴史的な大きな節目の年を迎えます。
今日まで、幾多の困難に直面しながらも、多くの先人のたゆまぬ努力と英知によって築き上げられてきた、「りんごの里板柳」をより豊かで住みよい元気なまちにし、次の世代へ引き継いでいかなければなりません。
こうした中、現行の長期振興計画は、本年度をもって最終年を迎えることから、板柳町の未来を切り拓く新たなまちづくりの指針となる板柳町長期振興計画（第6次）の策定について諮問します。

答申書

令和3年12月2日
板柳町長 成 田 誠 殿
板柳町振興計画審議会 会長 名越 勉
板柳町長期振興計画（第6次）について（答申）
令和2年7月10日付け板企財発第100号で当審議会に諮問のあった板柳町長期振興計画（第6次）の策定について、当審議会において、長期的な将来の予測や今後のまちづくりに向けた課題、アンケート調査やテーマ別ワークショップなどによる町民からのご意見を踏まえ慎重に審議を重ね、「板柳町長期振興計画（第6次）」について、別紙のとおり取りまとめましたので、答申します。
新型コロナウイルス感染症による影響は見通せない状況ではありますが、町民が将来にわたって住み続けたいと思える「りんごの里いたやなぎ」となるよう、今後10年間のまちづくりが推進されることを希望します。

町民憲章

わたくしたちは、文化の香り高い、米とリンゴのまち板柳の町民です。

わたくしたちは、板柳町を心から愛し、永い間培われてきたこの風土に誇りをもち、よりしあわせな生活をめざすために町民憲章を定めます。

- 一、仕事に誇りをもち、豊かな町づくり。
- 一、きまりを守り、力を合わせる町づくり。
- 一、清潔で、健康な町づくり。
- 一、科学する心を養い、能力を高める町づくり。

〈昭和50年11月1日制定〉

町の木
楓（かえで）



〈昭和50年11月1日制定〉

町の花
リンゴの花



〈平成24年10月1日制定〉

町の昆虫
マメコバチ





板 柳 町

第6次 板柳町長期振興計画

令和3年12月策定

〔発行〕板柳町

〔編集〕板柳町企画財政課

青森県北津軽郡板柳町大字板柳字土井239-3

<https://www.town.itayanagi.aomori.jp/>

